

入試情報

入 試 日	願 書 提 出	合 格 発 表	調 査 書 点 計 算 方 法
■前期選抜: 2/3(水)	1/12(火)-15(金)	2/12(金)	(英数国×5段階+他×5段階×2)×3年分
■後期選抜: 3/9(水)	2/23(火)-26(金)	3/16(水)	(5教科×5段階+他×5段階×2)×3年分

教育のプロ
トライさん



傾向

前期選抜は、各学校が設定する基準を満たせば自由に出願することができ、調査書点と学力検査点(英・数・国)及び学校独自問題(小論文・作文)の合計点で合否判定が行われる。学校独自問題では一部トップ校において理科・社会の要素を多く含んだ総合問題が出題される傾向がある。後期日程はすでに県内県外問わず合格した者以外が出願できる。調査書点と学力検査点(英・数・国・理・社)に関して相関図を用いて合否判定が行われる。調査書点と学力検査点の評価比率は各学校が独自に定め、事前に公表することになっている。また、前期選抜・後期選抜ともに、面接や実技試験が行われる場合もある。

科目別対策

英 語

リスニング、文法適語選択、長文読解、対話文読解で構成され、3つの文で記述する自由英作文なども出題される。難問・奇問はほとんど見られず、難易度・問題量ともにバランスよく出題されている。長文読解に関しては、英語や日本語で答える説明問題が出題され、受験生の間で差がつきやすい。日頃から長文対策を進め、読み解くことになっておくこと。英作文対策では基本例文の暗記がおすすめ。

数 学

小問集合・方程式・関数・図形とバランス良く出題されている。関数や図形問題の一部は難易度が高い。小問集合問題を始めとする基礎～標準レベルの問題で完答を目指し、得点を安定させたい。そのため、まずは正確な計算力を意識しよう。1次関数・相似の証明・三平方の定理は別の単元との融合問題で問われる場合もあるので、過去問などで十分対策しておこう。

国 語

物語文・説明文・漢字・文法・古典・作文で出題されている。物語文と説明文では少し長めの記述問題が出題され、難易度は高い。漢字や古典は基礎～標準レベルがほとんどなので、事前にしっかりと対策し高得点を狙おう。作文のテーマは書く量が多く配点も高いが、テーマは抽象的なものが多い。得意だと感じる人でも、添削を受けて書き方を練習しておこう。

理 科

化学・物理・生物・地学の4分野すべてからバランスよく出題されている。実験や観察が重視されているため、実験結果から考察を書く問題や、グラフを書く問題が頻出。用語や結果を覚えているだけでは対応できない問題が多いので、実験や観察に関わる単元は特に重点的に対策することが必要。過程や根拠をしっかりと理解しながら学習を進め、実験器具の名称などについても覚えておくと良い。

社 会

地理・歴史・公民の3分野それぞれの問題と、3分野の融合問題が出題される。語句問題だけではなく、説明問題や図表からの読み取り問題も多く出題される。ここ数年の時事問題はほぼ出題されないが、社会保障・税金・経済政策などについてはよく出題されるので十分対策しておこう。文字制限があるため、自分の書きたいことを簡潔にまとめる練習も必要である。